

三重大学附属図書館研究開発室 平成23年度事業報告

I. 事業の概要

1. 附属図書館事業支援

平成 21 年度に共通教育棟 3 号館の 1111 号教室を改装して設置したラーニングコモンズについて、外部からの見学依頼に、研究開発室の専任教員と図書館員が対応した。その中で、設備の案内に加えて、大学教育改革の背景、ラーニングコモンズの仕様、ラーニングコモンズで提供する情報サービスに関する説明会を提供した。

平成 24 年度に開館する環境・情報科学館の 2 階と 3 階に設置するラーニングコモンズやオープンスクール形式の教室などの学習空間について、研究開発室の専任教員と図書館員が建築学科の教員や大学院生とともにデザインし、運用のあり方を検討した。また、検討した結果を環境・情報科学館設置ワーキング・グループに提案した。

平成 24 年度に改修予定の附属図書館の学習空間について、図書館員や研究開発室専任教員が、建築学科の教員や大学院生とともにデザインした。

2. 学術情報リテラシー支援

平成 23 年度についても、附属図書館の専任教員が図書館員とともに、スタートアップセミナーや各種講習会のあり方を検討した。具体的には、科目関連指導やパスファインダーの開発のために、国内外の大学の情報を提供したり、研究によって得られた成果を共有した。

大学教育マネジメント人材育成プログラムという東北大学とカナダのクイーンズ大学との共同プロジェクトの一環として、附属図書館の学習支援や教育支援に関する課題を抽出し、それをもとに、平成 24 年度の改革計画を作成した。作成した改革計画とそのプロセスについては、口頭および文書により学外で報告をした。

附属図書館研究開発室の専任教員が、図書館が提供する学習支援の実状や成果を把握するために、ピア評価を行った。具体的には、部局の授業科目（1 科目）で授業観察を実施し、学生の情報探索行動を調査した。そのプロセスと成果については、国内の大学教育関係のフォーラムで報告をした。

3. 学術機関リポジトリ構築支援

学術機関リポジトリ（MIUSE）構築についての情報収集及び登録促進への取組について支援し、九州大学・筑波大学・一橋大学との連携による国立情報学研究所委託事業「文献自動収集・登録ワークフローシステムの開発」への助言を行った。

また、吉村利男客員教授を中心に作成した「明治前期産業発達資料集成」のデータをチェックし、その公開に向けた準備を行った。

川口祐二客員教授が、これまで全国の漁村を調査して廻った際の写真約 6700 枚を調査し、博学連携推進室と協力して、将来の公開・活用に備え、全点をデジタル化した。

4. 附属図書館所蔵資料に関する調査研究

人文学部の吉丸雄哉准教授と共に、附属図書館が所蔵する和書の整理作業に着手した。特に古文書類の概況を把握し、次年度以降の整理の見通しを立てた。

5. 歴史的・文化的資産データ集積事業の整備

三重県史編さんグループと協働して、三重県関係の歴史的・文化的資産データ集積事業（平成19年度から開始）を継続して実施し、今年度は東海圏の大学紀要雑誌を中心に、300点を超える文献データカードを作成した。

6. 伊勢新聞記事データベースの整備

伊勢新聞の特に明治期の分を中心に、三重大関係記事の検索を進めた（現在、約100件）。また、昨年度に報告した志摩海女関係の記事一覧をも用いて、「都びとのあこがれ～歴史に見る志摩の「観光海女」」と題して、『三重大史学』12号に発表した。

7. 海女研究会の運営

県立博物館、海の博物館等と大学（図書館）が連携した調査研究活動の一環として、海女研究会の運営に当たった。今年度は5回の研究会を開催し、12月12日には「古文書から見る海女の歴史の実態」と題して報告を行った。

また、海女研究会を母体として開催した三重大学・鳥羽市・海の博物館文化フォーラムの運営に当たるとともに、「都びとのあこがれ～歴史に見る「観光海女」」と題して報告し、シンポジウムでの討議に参加した。

（海女研究開催記録）

平成23年4月4日(月) 15:30～ 例会

場所 県立博物館 レクチャールーム

内容 大喜多甫文「海女漁業と資源管理」

平成23年6月6日(月) 15:30～ 例会

場所 県立博物館 レクチャールーム

内容 吉村利男(三重県史編さんグループ、三重大学客員教授)

「大正・昭和初期の海女調査と真珠養殖における海女—資料の紹介を中心に—」

石原義剛(海の博物館館長、三重大学客員教授)

平成23年8月22日(月) 15:30～ 例会

場所 県立博物館 レクチャールーム

内容 山川芳洋

平成23年12月12日(月) 15:30～ 例会

場所 県立博物館 レクチャールーム

内容 塚本明(三重大学人文学部)「古文書から見る海女の歴史の実態」

服部由美(武蔵野大学)「海女と出産」

平成 23 年 2 月 20 日(月) 15:30～ 例会

場所 県立博物館 レクチャールーム

内容 小川真依(三重大学人文学部4年生)

「志摩地方における真珠養殖の発展と地域社会」

松月清郎(真珠博物館)「西洋人が見たAMA—海外文芸における海女の姿—」

Ⅱ. 室員の活動

■【地域貢献】

- ・津市子ども読書推進協議会(津市子ども読書推進実行委員会)(副会長:三根慎二, 委員:磯谷峰夫)
- ・津市教育委員会・学校図書館運営研修講座
河谷宗徳「分類と目録の基礎」平成 23 年 7 月 29 日(於:総合情報処理センター)
三根慎二「電子メディアを活用した読書活動推進」平成 23 年 11 月 11 日(於:総合情報処理センター)
- ・三重県図書館協会ネットワーク部会(部会長:三根慎二, 委員:河谷宗徳)
- ・桑名市教育委員会 図書館協議会(副会長:長澤多代)
- ・桑名市教育委員会 第7回 桑名市「図書館を使った調べる学習コンクール」審査委員(委員:長澤多代)

■【共同研究】

- ・東北大学高等教育開発推進センター・大学教育支援センター「大学教育マネジメント人材育成プログラム(Queen's-Tohoku Joint Program for University Education Managers and Developers)」教育関係共同利用拠点:国際連携を活用した大学教育力開発の支援拠点[長澤多代「三重大学附属図書館が実施する学習支援・教育支援:教員と図書館員の連携の構築を中心に」](2011 年度)

■【論文】

- ・塚本明「都びとのあこがれ—歴史に見る志摩の「観光海女」」『三重大史学』No.12, 2012.3, p.15-39.)
- ・長澤多代「大学教育における教員と図書館員の連携を促す図書館員によるつながり方の開拓:アールム・カレッジのケース・スタディをもとに」『日本図書館情報学会誌』Vol. 58, No.1, 2012.3, p.18-34.
- ・KHASAWNEH, Fahed A., SHIBAYAMA Yoriko, KATO Akikazu, MORI Shiho and NAGASAWA Tayo. “Impacts of Pedagogy Change on Japanese University Learning Space Design and Students’ Collaborative Behaviours,” DAVIS John et al. ed. PBL across the Disciplines: Research in to Best Practice. Aalborg University Press, 2011, p.338-350.

■【研究発表(口頭発表)】

- ・長澤多代「情報活用プロセスを導入した授業の設計と大学図書館の関わり」[ラウンドテーブル企画(話題提供者)]松田岳士, 岩崎千晶, 長澤多代, 香川秀太, 松下佳代「成果が学習にフィードバックされるFDとは:学生の学びの変化をとらえる」第 18 回大学教育研究フォーラム, 京都大学, 2012.3.16.
- ・毛利志保, 加藤彰一, 長澤多代, KHASAWNEH Fahed A.「大学図書館ラーニングコモンズにおける利用実態調査」大学教育改革フォーラム in 東海 2012, 2012.3.3.

- ・KHASAWNEH、Fahed A., SHIBAYAMA Yoriko, KATO Akikazu, MORI Shiho and NAGASAWA Tayo. “Impacts of Pedagogy Change on Japanese University Learning Space Design and Students’ Collaborative Behaviours、” 3rd International Research Symposium on PBL 2011, Coventry University, United Kingdom, 2011.11.28–29.

■【招待講演】

- ・長澤多代「教員と図書館員が連携する学術情報リテラシー教育」〔講義〕国立情報学研究所, 平成 23 年度学術情報リテラシー教育担当者研修, 大阪大学, 2011.10.20 / 国立情報学研究所, 2011.12.1.
- ・三根慎二「オープンアクセスと機関リポジトリ」. 平成 23 年度機関リポジトリ新任担当者研修. 広島大学, 2011.9.8 / 国立情報学研究所, 2011.10.6 / 国立情報学研究所, 2011.11.21

Ⅲ. 組織

	氏名	専門領域	所属・職名
室長 (附属図書館長)	滝 和 郎	脳神経外科学	理事(評価・情報担当)・副学長
専任室員	長澤 多代	図書館情報学	附属図書館研究開発室・准教授
兼務室員	塚 本 明	日本史学	人文学部・教授
兼務室員	三 根 慎 二	図書館情報学	人文学部・講師
客員教授	石 原 義 剛	博物館学	海の博物館館長
客員教授	川 口 祐 二	漁村生活史	エッセイスト
客員教授	吉 村 利 男	日本史学・考古学	三重県史編さんグループ・嘱託
学術アドバイザー	小 山 憲 司	図書館情報学	日本大学文理学部・准教授